

◎INK-HP131

対応カートリッジ

ヒューレット
パッカード

HP131

PhotoSmart PSC 2710・2610・2355・1610・1510
OfficeJet 7410・7210・6210
DeskJet 6840・5740・460C
PhotoSmart 8753・7830

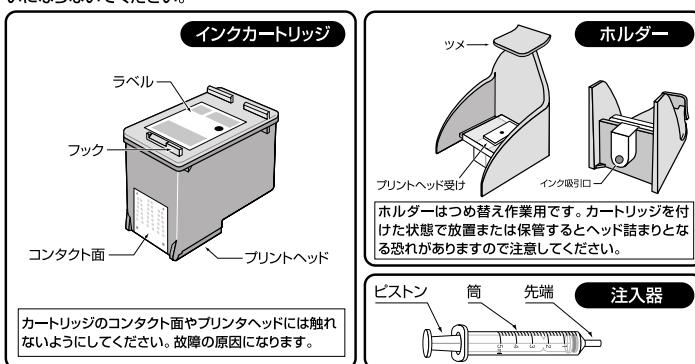
対応プリンタ



- インクカートリッジの種類により適応するインクが異なります。
- 対応カートリッジをご確認の上ご使用ください。
- インクは身体及び衣類等に付着するとすぐに消えません。取扱にご注意ください。
- ご使用の前に注意事項を必ずお読みください。

安全上の注意 △

穴あけピンは金属製です。使用の際にはご使用者本人及び周囲へのケガ、事故など身体の安全に注意してください。使用後はパッケージ(箱)に入れ、小児・幼児の手の届かないところで保管してください。また、インクの詰め替え専用にお使いいただきための治具であり、本用途以外の目的にはお使いにならないでください。



トラブルシューティング

※つめかえインクを使用したカートリッジを使ったプリンタは、メーカーによっては不正改造に当たると判断される場合があります。不具合が発生した場合、まず弊社にご連絡ください。

症 状	確 認 事 項	処 置
つめかえ作業中	ボトルのノズルが入らない	穴あけピンの根本が注入口に当たるまで差し込んでください。(手順3)
	注入中にインクが漏れてくる	ヘッドがゴムに全面密着していないとインクが漏れてくる場合があります。まっすぐカチッと音がするまで付け直してください。(手順2)
	注入口をふさいでいませんか？	ノズルと注入口の間に空気逃げのための隙間をとってください。(手順5)
	最後のインク確認でインクが出てこない	ヘッドにインクが付いたまま放置されたカートリッジはインクが固まってしまい、使用できない可能性があります。 つめかえインクが瞬間にカートリッジ内やノズルを凝固させることはできません。
	インク注入量が不足していませんか？	漏れなどのため途中で注入を止めた場合でも、まだインクが入ることがあります。カートリッジを再度ホルダーに取り付けて、インクを注入してください。(手順5)
印刷の時	付属品の注入シールがなくなった	注入口の封止が目的のため接着テープをお使いいただいている問題ありません。
	注入後のカートリッジからインクが漏れている	インクの入れすぎの可能性があります。ティッシュペーパーの上にカートリッジのプリントヘッドを下にして30秒ほど置き、余分なインクが自然に止まるまで吸収してください。
	カートリッジをプリンタに付けても動作しない	汚れなどによりプリンタが認識しない場合があります。プリンタの取扱説明書またはサポート情報を参照して対処してください。
	カートリッジを確認してください。	互換カートリッジや再生リサイクルカートリッジを使っていますか？純正品以外は対応しておりません。
	印刷ができない、またはかすれやスジが入る	ヘッドにインクが付いたまま放置されたカートリッジはインクが固まってしまい、印刷しない可能性があります。詰め替える前に必ず印字できるか確認してください。
印刷の時	長期間使用をしないまま、外してあったカートリッジではありますか？	純正互換インクなので、併用した場合インクのかずれや出なくなる恐れがあります。
	他社のインクと併用していませんか？	つめかえ回数が多くなると(3回までが目安)、印字の状態が悪くなってしまうことがあります。新しいカートリッジへの交換をおおすすめします。
	つめかえ回数を確認してください。	カートリッジの中の空気泡が発生し、インクの流れが悪くなっている可能性があります。カートリッジをホルダーに再度取り付けてから注入口シールを取り、インクの引き出し(手順6)を行ってください。その後、注入ローラーを貼り直してクリーニングを1回してください。
	クリーニングでは問題なく、通常印刷で症状がでますか？	インクを入れすぎるとプリントヘッドにインクが出来溢まり、ヘッドのノズルをふさいでしまいます。ティッシュペーパーの上にプリントヘッドを下にして30秒ほど置き、余分なインクを吸収してください。
	プリントヘッドにインクが余分に付いていませんか？	漏れなどのため途中で注入を止めた場合でも、まだインクが入ることがあります。カートリッジを再度ホルダーに取り付けて、インクを注入してください。(手順5)
印刷の時	インクの注入量が不足していませんか？	カートリッジをプリンタに取り付けて通常通り印刷が実行されれば問題はありません。ただし表示が変わらないので、インク残量やインク切れは印刷状況を見て注意してください。
	インクの残量表示が戻らない	カートリッジをプリンタに取り付けて通常通り印刷が実行されれば問題はありません。ただし表示が変わらないので、インク残量やインク切れは印刷状況を見て注意してください。

† つめかえの前に必ずお読みください

● つめかえの手順は裏面です。

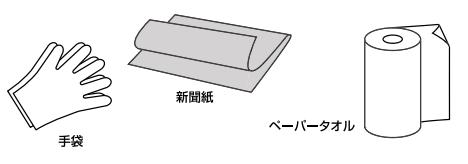
本書に記載されていること以外は行わないでください。印刷不良や思わぬ事故の原因となる場合があります。



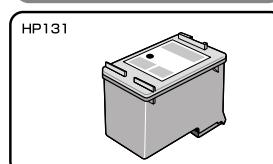
- 長期間プリンタをお使いにならない場合、つめかえを行う前に、必ず印字できるかどうか、ご確認ください。
- 乾燥しやすい場所では、作業しないでください。プリントヘッドの故障の原因となる恐れがあります。

準備1 汚れ防止のための準備

- つめ替え時にインクがこぼれて周辺が汚れることがあります。あらかじめ新聞紙やペーパータオルを用意し、その上で作業をしてください。
- 手や着衣にインクが付かないよう付属の手袋をつけ、エプロンなどを着用して汚れを防止してください。



カートリッジの確認



下 つめかえの手順

1 注入口ガイドシールをカートリッジに貼る

カートリッジに貼られているラベルの下には空気穴があり、つめ替えはこの穴を注入口として使います。付属の注入口ガイドシールをカートリッジのラベルに合わせて貼り付けてください。ガイドシールの丸い穴の部分が注入口の位置となります。

△ 注意

作業は新聞紙やペーパータオルなどを敷き、その上で行ってください。



2 カートリッジをホルダーに取付ける

カートリッジのプリントヘッド部分をホルダーの底にあるプリントヘッド受け(黒いゴム)に合わせて入れ、ホルダー上部のツメにカートリッジのフックをカチッと音がするまで確実に押し込んでください。

△ 注意

取付けが不確実ですとつめ替え中にインクがもれる恐れがあります。

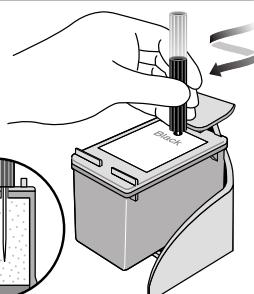


3 スポンジにノズル用の穴を開ける

カートリッジの中にはスポンジが入っています。
注入口ガイドシールの丸い穴に穴あけピンを合わせて回しながら垂直に入れ、ノズルを入れるための穴を開けます。

△ 注意

穴あけピンの根元が注入口に当たるまで差し込んで下さい。



4 インクボトルのゴムキャップを外す

手袋(⑥)を着用します。インクボトルのゴムキャップを取り外したり閉めたりする際は、ノズルの根元をしっかりと押さえながら、垂直方向に動かしてください。

△ 注意

インクボトル部分は絶対に押さないでください。押さえるとインクが飛び出することがあります。(ゴムキャップを閉める際はノズル先端から1cm程差し込んでください。)

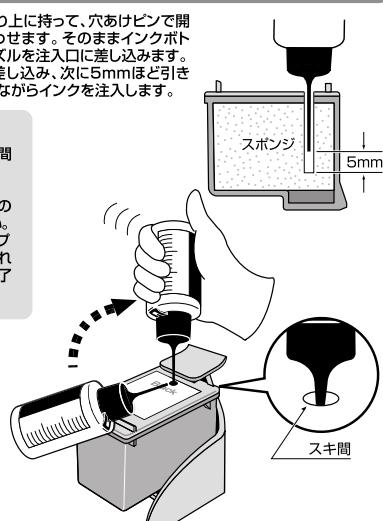


5 インクを注入する

インクボトルのノズル先を水平より上に持って、穴あけピンで開けた注入口にノズルの先端を合わせます。そのままインクボトルが垂直になるように起こしてノズルを注入口に差し込みます。いったん注入口がふさがるまで差し込み、次に5mmほど引き上げて、ゆっくりとボトルをしぼりながらインクを注入します。

△ 注意

●注入口には空気逃げのスキ間を必ず開けてください。
●インクの注入量
インクを使い切った場合の1回の注入量は10mlを目安として下さい。ただし、つめ替え中に注入口やプリントヘッドからインクがあふれたり、漏れた時はその時点で終了してください。

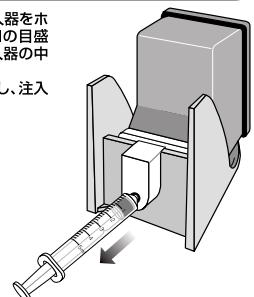


6 カートリッジの内部調整(インクの引き出し)をします

注入したインクをヘッド側に移動し安定させるため、注入器をホルダー下側の吸入口に差し込み、ピストンを1~1.5mlの目盛までゆっくり引いてください。引くと同時にインクが注入器の中へ出てきます。
吸引が済んだら注入器とカートリッジをホルダーから外し、注入器のインクは水と一緒に洗い流し、捨ててください。

△ 注意

★吸引中はピストンを引いたところで保持し、戻らないようにしてください。

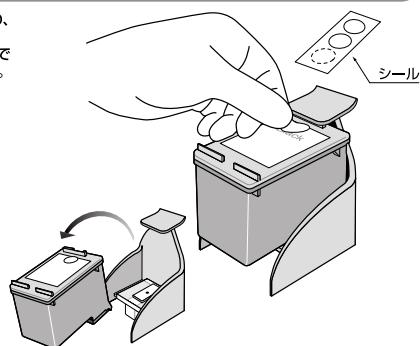


7 注入口にシールを貼り、ホルダーから取り出す

注入口に貼ったインクをふき取り、付属のシールを貼ります。
手順②の取り付けと逆の順序でカートリッジを外してください。

△ 注意

●インクを注入した後のプリントヘッドには余分なインクが付いています。外す時にはインクが飛び散ったり、こぼれたりしないよう、取り扱いには注意してください。
●ホルダーはゴム部分などについたインクをふき取って、次回のつめ替えまでパッケージに入れて保管してください。

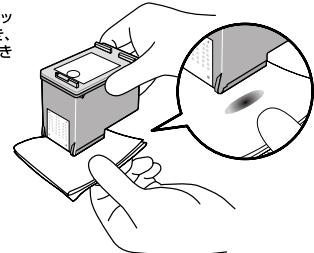


8 ヘッドからのインクの確認する

厚く重ねたティッシュペーパー等にプリントヘッドを2~3回押してて余分なインクを取り除き、その後、図のようにインクの中にじみ跡がはっきりと確認できたら完了です。

△ 注意

プリントヘッド部分は強く拭いたりこすりしないでください。紙の繊維がほころびプリントヘッドのノズルの穴に入り込み、印刷不良となることがあります。



9 クリーニング・印字テスト

カートリッジを取り付け、最初にクリーニングを1回行いノズルチェックパターン印刷またはテスト印字をしてください。プリントがよくない場合はもう一度クリーニングとテストを行ってください。クリーニングとテスト方法はプリントの取扱説明書を参照してください。
※クリーニングの繰り返しはカートリッジの寿命が短くなります。3回までのクリーニングで正常にプリントされない場合はトラブルシューティングを参照してください。

○つめかえ回数

つめ替えによるカートリッジの再使用は3回までが適当です。
それ以上は中のスポンジの劣化などによりインクの供給に不都合が生じ、正常な印字が出来なくなる場合があります。その際はつめ替えたカートリッジの使用を止めて、新しいカートリッジをお使いになることをお勧めします。

○2回目以降のつめかえ

カートリッジをホルダーに取り付けて(手順2)注入口に貼ったシールを取り、④~⑧の手順でつめ替えを行ってください。(シールが不足となった場合は、市販の接着テープをお使いください。)

○つめかえが終わったら

●インクボトルはゴムキャップをしっかりと閉め、直射日光や高温多湿の場所を避け涼しいところに立てて保管してください。
●穴あけピンとホルダーは付着したインクを水で洗い流して、水分をふき取ってからパッケージに入れて保管してください。

※インクの色について

本品は当社オリジナルインクを使用していますので、純正インクを使ったプリントの色と色合いに差異が生じる場合があります。